

第13回「日本語大賞」

テーマ「 」に伝えたい言葉

小学生の部 文部科学大臣賞 受賞作品

私を変えた言葉

神奈川県

湘南ゼミナール 小中部茅ヶ崎教室

小学六年 向山 凜

特定非営利活動法人 日本語検定委員会

「今が変わるチャンスです。」

六年生の一日目、その先生の一言が私の心に響いた。

今年の担任の先生は、私達の学年を一度も受け持った事のない先生だった。担任の先生の名前が言われた時、聞いた事のない名前だったので、私もクラスのみんなも

「だれ？」

「どんな先生だろう？」

とドキドキしながら先生が来るのを待っていた。

そして、いよいよ先生が教室に入ってきた。先生はとても優しそうな女の先生で、私は安心した。

先生は自己紹介をした後、こんな話をした。

「先生は、みんなの一年生から五年生の時の事を知りません。だから今が変わるチャンスです。周りの目は気にせずに変わってください。周りの意見は関係ありません。」

私はこの話を聞いてハッとしました。

去年、私は周りの目を気にして色々な事に積極的になれず、少し後悔していた。小学校最後の一年、もっと楽しみたいと思っていた。そんな私の心が先生の言葉で大きく動いた。うまく表現出来ないが、自分の中で何かが変わったのが分かった。周りの事は気にせずに自分の思うようにやろうと思った。

委員会の委員長に立候補してみんなの意見をまとめたりした。運動会では応援団になり毎日休み時間にみんなで練習した。本番では緊張したけど、みんなと一緒に出来てすごく楽しかった。大変な事も多かったけど、一歩踏み出して色々な事に挑戦出来て楽しい思い出になった。

これからも、周りの事や失敗は気にせずに色々な事に挑戦していこうと思う。

私を変えてくれた先生に「ありがとう」と伝えたい。